

## 従業員:労働安全衛生

ムラタでは、従業員一人ひとりが安全で健康的に働ける職場環境づくりを目指して、労働安全衛生を推進しています。

### 労働災害の発生頻度の推移

ムラタにおける労働災害頻度は、日本国内の災害統計と比べても低い災害発生度数率を達成しています。

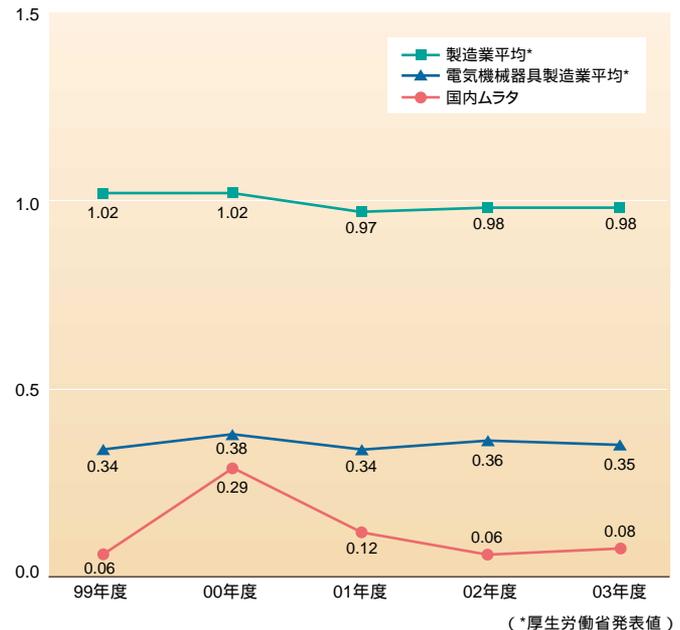
ムラタの生産ラインには危険有害作業が比較的少ないため、休業を伴う重大な労働災害の発生は非常に少なくなっています。しかし、設備機械などの修理・調整・移動などの非定常作業環境時には、指先を挟まれたり巻き込まれたりして負傷する災害が発生しています。

発生した災害については、各事業所・子会社の安全衛生委員会を通じて共有し、同種類似災害の発生を未然に防止できるように、作業の標準化、教育訓練の実施、特別な作業観察技法を用いた管理監督者の職場巡回と作業指導などを行い、グループ全体として労働災害防止に取り組んでいます。

度数率とは、100万のべ労働時間当たりの労働災害件数を災害頻度として表したものの。

休業災害発生状況の推移(国内)

(件/100万時間)



### リスク低減の取り組み

1999年の労働省(現:厚生労働省)の労働安全衛生マネジメントシステムの指針を受け、ムラタでもこのシステムの構築・導入準備を進めています。労働安全衛生マネジメントシステムとは、災害の潜在的危険源を減少させ、安全衛生管理の水準を計画的に維持向上させるために「計画 実施 評価 改善」という一連のプロセスを継続的に推進する仕組みです。

ムラタでは、このシステムの根幹ともいべきリスクアセスメン

トを順次導入しています。新規化学物質の導入時のリスクアセスメントとして、化学物質審査登録制度により法的規制の確認と事業所受け入れ時の設備対応などの確認を実施しています。

また、生産設備の設計・製作時のリスクアセスメントを、モデル部門で試行を完了し2004年4月から全事業所への展開を図っています。なお、生産現場においても設備導入時に安全衛生審査をあわせて実施しています。

### 従業員の健康管理

従業員の健康管理の重要性はますます高まっています。ムラタでも健康づくりの基本理念を制定し、これをもとに独自の健康増進活動に取り組み、従業員の心身の健康づくりを支援しています。

定期健診では、あわせて運動機能測定を実施してこれらの結果に基づき保健指導、運動指導及び栄養指導を行っています。また、健康保険組合と協同でウォーキングを中心とした運動推進行事、よりよい生活習慣づくりのため個人で目標を設定して取り組む健康増進活動などを実施しています。

この他に、グループ内の主要事業所には、現在、産業医のほかにメンタル専門医師が定期来社する体制をとり、カウンセリングやメンタルヘルス講習会を開催するなど、心とからだの健康づくりに必要な情報や機会の提供を行っています。

